



# 平成29年9月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成29年8月3日

上場会社名 テモナ株式会社  
 コード番号 3985 URL <https://temona.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO  
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月7日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 (氏名) 佐川隼人  
 (氏名) 鈴木隆廉  
 TEL 03-6635-6452

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成29年9月期第3四半期の業績(平成28年10月1日～平成29年6月30日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第3四半期	798		183		167		114	
28年9月期第3四半期								

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期第3四半期	102.07	94.02
28年9月期第3四半期		

(注) 1 平成28年9月期第3四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、平成28年9月期第3四半期の数値及び平成29年9月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載していません。

2 当社株式は、平成29年4月6日に東京証券取引所マザーズ市場に上場しており、第9期第3四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、新規上場日から第9期第3四半期累計期間の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年9月期第3四半期	1,581	1,028	64.9	
28年9月期	808	249	249.0	

(参考) 自己資本 29年9月期第3四半期 1,027百万円 28年9月期 248百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年9月期				0.00	0.00
29年9月期		0.00			
29年9月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成29年9月期の業績予想(平成28年10月1日～平成29年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,039	32.2	190	47.9	196	55.1	137	58.2	117.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成29年9月期(予想)の1株当たり当期純利益は、公募株式数(240,000株)、オーバーアロットメントによる売出しに関連する第三者割当増資分(43,300株)を含めた期中平均株式数により算定しております。

## 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年9月期3Q	1,318,300 株	28年9月期	1,035,000 株
期末自己株式数	29年9月期3Q	株	28年9月期	株
期中平均株式数(四半期累計)	29年9月期3Q	1,119,731 株	28年9月期3Q	株

(注) 当社は、第3四半期の業績開示を当事業年度より行っているため、平成28年9月期第3四半期の期中平均株式数を記載しておりません。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想等の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2.「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	4
第3四半期累計期間 .....	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	5
(継続企業の前提に関する注記) .....	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	5
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	5
(追加情報) .....	5
(セグメント情報等) .....	5

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善が続かなかで、各種政策の効果もあり、緩やかな回復基調が続いておりますが、中国を始めとするアジア新興国の経済の先行き、米国の政治・経済動向や欧州の政治不安など、世界経済の先行きは依然として不透明な状況で推移しております。

当社の事業に関連する消費者向け電子商取引（BtoC-EC）市場においては、スマートフォンやタブレット端末の普及・進化に伴い、企業のECビジネス展開が継続的に増加しており、更なる成長が期待されます。

このような経営環境のもと、当社ではビジネスと暮らしがともなく（※1）なるようリピート通販に特化したEC支援企業としてリピート通販市場におけるストック型のビジネスモデルの普及や、リピート通販のEC支援分野における更なる地位確立を目指し、サービスの企画、営業に注力してまいりました。

「たまごリピート」及び「たまごサブスクリプション（※2）」においては、全国主要都市でのセミナー開催に留まらず、食品市場開拓に向けて、地方都市でもセミナー開催、営業活動を行い、当社サービスの認知度を向上させ、新規顧客獲得に努めてまいりました。

また、「たまごリピート」の総販売代理店契約の見直しに伴い、CP0低減（※3）やコンバージョン率（※4）引き上げを目的としたウェブ接客ツール「ヒキアゲール」の当第3四半期累計期間の営業活動を、「たまごリピート」のクライアントへのクロスセル等限定的な活動に留め、「たまごリピート」の営業領域拡大に対応するため販売体制の構築を進めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高798,416千円、営業利益183,975千円、経常利益167,694千円、四半期純利益114,292千円となりました。

なお、当社はEC支援事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしていません。

※1 てもなく：古くからの日本語である「てもなく（手も無く）」は、「簡単に、たやすく」という意味。

※2 たまごサブスクリプション：当社サービスである「たまごリピート」の得意とする健康食品・化粧品等のリピート通販市場の領域だけでなく、食品等の新たな市場領域のサブスクリプションコマース（毎月一定の料金を支払い、販売事業者が選定した商品を購入するサービス）をターゲットとして別ブランド化した当社サービスの名称。

※3 CP0：1件の注文を成約するためのコスト（Cost Per Order）。

※4 コンバージョン率：サイト訪問者数に対する成約者数の割合。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期会計期間末における総資産の残高は、前事業年度末に比べて773,178千円増加し、1,581,680千円となりました。この主な要因は、現金及び預金が772,778千円増加したことなどによるものであります。

#### (負債)

当第3四半期会計期間末における負債の残高は、前事業年度末に比べて5,735千円減少し、552,998千円となりました。この主な要因は、賞与の支払いなどにより未払金が31,030千円減少したことなどによるものであります。

#### (純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は、前事業年度末に比べて778,914千円増加し、1,028,682千円となりました。この主な要因は、新規上場時の新株発行等による資本金及び資本剰余金の増加664,621千円によるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成29年4月6日公表の通期業績予想に変更はありません。

なお、業績予想は、現時点において入手可能な情報に基づいて作成されており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年9月30日)	当第3四半期会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	619,338	1,392,116
売掛金	44,746	59,777
その他	48,700	45,726
貸倒引当金	△921	△1,049
流動資産合計	711,862	1,496,570
固定資産		
有形固定資産	10,755	10,741
無形固定資産	7,875	5,808
投資その他の資産	78,008	68,559
固定資産合計	96,638	85,109
資産合計	808,501	1,581,680
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	39,488	60,039
1年内返済予定の長期借入金	67,394	83,328
未払金	86,228	55,197
未払法人税等	49,643	33,400
賞与引当金	—	14,246
前受金	113,138	111,581
その他	19,473	16,676
流動負債合計	375,366	374,470
固定負債		
長期借入金	182,304	177,509
ポイント引当金	1,062	1,018
固定負債合計	183,366	178,527
負債合計	558,733	552,998
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	20,500	352,810
資本剰余金	10,500	342,810
利益剰余金	217,140	331,432
株主資本合計	248,140	1,027,054
新株予約権	1,627	1,627
純資産合計	249,767	1,028,682
負債純資産合計	808,501	1,581,680

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)
売上高	798,416
売上原価	216,287
売上総利益	582,128
販売費及び一般管理費	398,153
営業利益	183,975
営業外収益	
受取利息	4
自動販売機収入	61
その他	10
営業外収益合計	76
営業外費用	
支払利息	1,202
上場関連費用	10,245
株式交付費	4,909
営業外費用合計	16,357
経常利益	167,694
税引前四半期純利益	167,694
法人税等	53,401
四半期純利益	114,292

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年4月6日付で東京証券取引所マザーズ市場に上場し、平成29年4月5日を払込期日とする有償一般募集（ブックビルディング方式による募集）による増資により、発行済株式総数が240,000株、資本金及び資本準備金がそれぞれ281,520千円増加しております。

また、平成29年5月10日を払込期日とする有償第三社割当（オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資）により、発行済株式総数が43,300株、資本金及び資本準備金がそれぞれ50,790千円増加しております。

以上の結果、当第3四半期会計期間末において資本金が352,810千円、資本剰余金が342,810千円となっております。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期会計期間から適用しております。

(賞与引当金)

前事業年度末においては、賞与の確定金額を「未払金」として計上しておりましたが、当第3四半期会計期間末は支払額が確定していないため、支給見込額を「賞与引当金」として計上しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、EC支援事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。